

「罪の赦しが宣べ伝えられる」

小池 宏明 牧師

弟子たちは、主なるイエス様が十字架上で、壮絶な死を遂げられたことを知り、悲しみと失意の中にいた。それから三日目、イエス様の遺体が無くなったとの知らせを受けた弟子たちの中に、イエス様とお会いしたと証言する者たちが出てきた。弟子たちは、夜遅く集まって、イエス様の目撃情報について話し合っていた。そうしたらイエス様ご自身が、彼らの真中に立たれたのだ。「平安があなたがたにあるように」とイエス様はいつもの挨拶の言葉で、いつものように現れて下さった。

***よみがえりの事実を確認**

ところが、弟子たちは、実際にイエス様にお会いしたら驚いて信じられず取り乱してしまった。イエス様は、そんな弟子たちに忍耐深く関わって下さった。イエス様は、まず、「取り乱すな」、「疑うな」とお言葉をかけて下さった。次に手と足を見せて触らせて下さった。骨や肉がついていることを確認させて下さった。最後に、イエス様は「焼き魚を食べる」ことで本当に肉体をもってよみがえったことを明らかにされた。主イエス様は、キリスト者の集まりの中に居て下さる。そして、イエス様が、父なる神様の右の座に着かれてからは、助け主なる聖霊様が、私たちの内に送られてきて、イエス様が、いつも、私たちと共にいることを明らかに示して下さっている。礼拝の時も、祈り会の時も、主なるイエス・キリストが、愛するお一人お一人に声をかけ、呼び集められた群れの真中に立たっておられる。主イエス様は私たちが信じることができるよう繰り返し証ししておられるのだ。

***全世界に福音が宣べ伝えられる**

それに加えて、主イエス様は昔からの預言のとおりを実現することを繰り返して語られた。実は、イエス様は、エマオに向かう二人の弟子たちにも、聖書の御ことばが実現したことを伝えていた。主なる神様が語られた言葉は、すでに実現していると私たちは信仰を持って受け止めて良いのだ。こうして、疑い深い臆病な弟子たちが、イエス・キリストの十字架と復活の証人となり、罪の赦しの宣べ伝える者となった。私たちも例外ではない。私たちも、救い主イエス・キリストの証し人とされている。御ことばは、語られたとおりに実現する。私たちの頑張りや努力ではなく、主の御力によって実現するのだ。主イエス様の父なる神様が約束された聖霊を弟子たち一人ひとりに送られ、聖霊の力によってキリストの証し人にさせられていった。

私たちは、心から、主イエス様のよみがえりを信じて受け入れて、御霊によって、大いに喜んで、キリストの良き証し人として成長していきたい。